

地域のために きばいもんそ!



CONTENTS / 目次

広報かのや No.302 August 2018

- 04 特集
「語り継ぐ、あの日の空」
- 10 温故写新/カノヤタイムトラベル
- 11 夢のかけはし「貫見 菜月 さん」
- 12 みんなの Hot News
- 14 平成30年度6月補正予算
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 23 スゴいぞ! ○高/おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ/
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 26 カノスポ
- 28 プレゼント・映画情報



いづみがおか 泉ヶ丘きばいもんそ会

泉ヶ丘町内会（寿6丁目）が主体の有償ボランティアグループ「泉ヶ丘きばいもんそ会」。地域のちょっとした困りごとを住民同士で助け合おうと、今年5月に発足しました。気軽に「助けて」と言える、また助ける側も気を遣わないで済む仕組みが有償ボランティアの特長。町内会主体の有償ボランティアグループ誕生は市内では初めてのことです。メンバーは2人の小学生を含む総勢16人。「助け合い券」を購入した利用者からの支援依頼を受け、お手伝いを行います。ごみ出しやおかずの提供、電球交換や家具の移動、簡単な庭掃除など…、支援内容は様々です。「助け合いは地域づくり」と語るメンバーの声が聞こえます。「よしっ、今日も、きばいもんそかい!」



寿小学校5年の毛塚翼^{けづかつばさ}さんもメンバーの1人。この日はごみ出しをお手伝い。

今月のカバー



「海軍航空隊笠原基地跡の川東^{えんたいどう}掩体壕」(市指定文化財)
川東町の畑に囲まれた場所に、ドーム型のコンクリートがたがずんでいます。これは、戦時中に戦闘機を米軍機の空襲から守るために作られた「掩体壕」で、中には零戦が入っていました。コンクリートに混じる玉石は、動員された小学生らが川から拾い上げたもの。戦争の記憶を今に伝える、貴重な戦跡です。